

各 JIS 規格の改正の概要

JIS T 6513 歯科用ゴム質弾性印象材

- ・本規格は、歯科で用いるゴム質弾性印象材について規定したもので、対応国際規格の ISO 4823 が、特殊な試験装置・器具を用いた試験方法の見直しなどのため、弾性印象材での操作時間試験の統一及びそれに伴う試験器具、手順などの規定内容の見直しなどが行われ 2021 年に改訂されたことを受け、今回の改正に至った。
- ・今回の主な改正は、以下のとおり。
 - ✓ “試験前の準備”の“合否判定”において、各試験項目の合否判定に用いる試験体の数を、現行規格の“3 個又は 5 個のいずれか”から“5 個”に改める。これに伴い、現行規格の“3 個の場合”の合否判定基準の規定を削除する。
 - ✓ “操作時間試験”において、タイプ 1～タイプ 3 の試験を、変位レオメータによる測定法から荷重式装置による測定法に改め、全タイプの試験を荷重式装置による測定法に統一する。試験方法の変更に伴い、荷重式装置を用いる操作時間試験に使用するリング型の内径と荷重値とをタイプ別に規定する。また、附属書で規定している変位レオメータの試験装置を削除し、荷重式の試験装置に改める。
 - ✓ “ちょう度試験”において、有効数字の見直しを図り、試験荷重を現行規格の (14.71 ± 0.01) N から (14.7 ± 0.1) N に改める。
 - ✓ “弾性回復試験”において、有効数字の見直しを図り、試験体の圧縮値を現行規格の (6.0 ± 0.01) mm から (6.0 ± 0.1) mm に改める。
 - ✓ “弾性ひずみ試験”において、有効数字の見直しを図り、試験荷重を現行規格の (1.22 ± 0.01) N から (1.2 ± 0.1) N に、同じく (12.26 ± 0.01) N から (12.3 ± 0.1) N に改める。